



## 特別討論会-危機的出血に対する輸血療法を考える

# 決議

- 羊水塞栓症、弛緩出血、常位胎盤早期剥離等、ならびに、大動脈瘤手術、心臓再手術の周術期症例など産科危機的出血、心臓血管外科手術に伴う後天性低フィブリノゲン血症による出血傾向は患者さんの生命に重大な影響を及ぼす
- このような症例において、凝固障害のために止血困難が認められ、フィブリノゲン値が150mg/dL以下の場合に、フィブリノゲン濃縮製剤の適応とすべきである
- 関係学会は適正な使用と必要な研究などを行うべきである

公益社団法人 日本産科婦人科学会  
特定非営利活動法人 日本心臓血管外科学会  
一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会